

## 児童・生徒の「足の確保」を優先し、統合を急ぐな



菊池伸浩 議員

**問** 昨年7月、学校統廃合計画説明会が行なわれました。その後、猿田小学校の羽黒小学校への先行統

合を巡り、いろいろ紆余曲折をへて、令和3年度の統合が明らかになりました。学校統廃合で一番問題になるのは、児童・生徒の「通学の足」の確保です。県に聞き取りをしたところ、スクールバスの導入が、一番多かったのが行方市の45台です。これらが一齐に動くとなれば、相当の費用がかかります。当初の5年間は国からの半額補助があります。その後は全部自治体負担です。小さな学校なら学校運営費は校長1人分の給与でやって行けます。先生の給与は、国と県の負担です。統合を急ぐ必要は、どこにもありません。父母の声をよく聞いて、児童・生徒の足の確保ができる見通しがついてからで、十分間に合います。

**答** 教育部長 市民との話し合いの中で、第2次基本計画の見直しが必要となれば、そのときに検討をまいります。行方市のスクールバスの運営状況は次の通りです。小学校43台、中学校2台、計45台です。小学校児童総数1,486名のうち、約8割の1,163名が利用しています。中学生は麻生第一中学校区の74名が利用しています。利用料は、条例では月3,000円ですが、令和3年3月までは「子育て支援策」として月1,000円となっております。運行委託料、約3億円。国庫補助金があるのは5年なので、今後の財源確保が課題となっております。

## 市道の安全対策について



相田一良 議員

**問** 大和中学校西側の市道を、生徒が横切つて市の体育館を利用してありますが、車の往来も多く、生徒

**問** 市内の市道に於いて、表示標識、特に白線が薄くわかりづらくなつており、歩行者が危険だとの情報が寄せられています。市の安全対策を伺う。

**答** 建設部長 経年劣化による市内の交通標識が破損しており、路面標示も消えている箇所が見られます。市内全域を調査し、交通規制箇所につきましては、警察を通して県公安委員会へ、国道・県道につきましては、各道路管理者に連絡し、市道につきましては、建設課で今後、年次計画的に補修に努めてまいります。

**問** 今の時代、まさにまさかの時代です。市内の幼稚園・小学校等の遊具で、まさかの事故が発生しないように、市ではどのような安全対策を講じているか伺う。

**答** 保健福祉部長 遊具の点検は、毎年1、2回専門業者に委託し、視診、聴診等による危険箇所の摘出、塗装の状態、また各部材の劣化状態等の調査点検作業を行い、その結果報告を提出して頂いております。また、担当職員による目視、及び触診点検を行い、記録簿に記載し安全を確認しております。修理等につきましては、優先順位をつけ、劣化が激しく、危険性が高いものを最優先して、子供達が安心して遊べる遊具の安全管理に努めてまいります。

**答** 建設部長 生徒の交通ルールの遵守やマナー向上を、交通安全教室等で図るとともに、現場での対策として、路面に注意喚起を促し、路面標示を設け、運転者の視覚に訴え、安全運転を導きたいと考えています。

**問** 市内全域を調査し、交通規制箇所につきましては、警察を通して県公安委員会へ、国道・県道につきましては、各道路管理者に連絡し、市道につきましては、建設課で今後、年次計画的に補修に努めてまいります。

**問** 以前の議会で、真壁地区西側のルートや、公共交通の不便な地域の整備について質問をした。市内の不便な地域を巡回するワゴンバスを走らせることになり、下谷員地区にも、西側ルートとしてバス停の看板が設置され、地元の方々の期待も高まっている。高齢者のアクセス踏み間違い等の悲惨な事故

**問** 市長公室長 不便な地区から、岩瀬及び真壁の市街地を巡回、買物等の日常生活の支援をまいります。免許証返納者に対し、デマンドタクシーの乗車券30回分と、運転経歴証明書の交付手数料の補助をいたします。市内バス、巡回ワゴンの利用方法など、高齢者が運転免許証を返納しやすい環境となるよう、検討してまいります。

**問** 政府は、今年2020年までに、指導的地位に女性が占

**答** 市民生活部長 平成30年度は20・5%で、県平均(26・0%)より低い水準にある現状です。第2次男女共同参画社会の環境の整備、あらゆる分野への女性活躍の推進、健康で安全・安心な暮らしの実現を掲げ、目標の達成に向け推進してまいります。

その他の質問  
地区計画について

## 健全な水道事業の取組みについて



武井久司 議員

**問** 人口減少に伴い、給水人口が減少し、水道事業の収支悪化が予想される。結果的に、漏水事故や安定供給に支障を来たし、住民生活の質の悪化を招きます。健全な水道事業の取り組み状況、官民連携方式についての認識について伺う。

**答** 上下水道部長 水質の安全確保を第一に、石綿管更新や水質基準51項目の分析や、放射能検査を実施しています。また、耐震化工事も進め、漏水事故防止にも努めています。平成

**問** 学校給食は、児童及び生徒の心身の発達に資するもので、重要な役割を果たすものです。学校給食の重要性を伺います。また付帯設備のトラブルや、異物混入状況、地産地消の状況、給食の安定、継続供給の確

**答** 教育部長 学校給食は、学校における食育、適切な栄養の摂取により、健康の保持、推進を図り、肥満や生活習慣病等の予防に、必要な食事として考えています。異物混入に関しては、児童生徒の健康に害するものはなく、焦げご飯や鶏肉の小骨等が数件ありました。地産地消のものとしては、米、麦、野菜、果物を使用しています。今後も地場産物を積極的に取り入れていきます。設備の維持管理は、定期的に点検を実施してきましたが、機器の点検漏れがあり、停止する事故となりました。今後は、適切な維持管理に努めていきます。